

九州のなかま

2009 - 6

秋闘情報: NO. 6

発行日 : 2009年10月15日(木)

発行者 : 生協労連 九州地連

エフコープ生協労組

フルタイムスタッフ冬季一時金要求書(2.0カ月)を提出、 第1回団体交渉を開催しました

定時スタッフ人事制度の変更があり、今回の一時金要求書は、フルタイムスタッフのみ提出
10月10日(土)に開催したフルタイムスタッフ支部代表者会で冬季一時金要求を2.0カ月とすることを確認し、昨日10月13日(火)に理事会に対して労働組合より冬季一時金要求書を提出し、第一回団体交渉を開催しました。回答指定日は、11月10日(火)です。

第1回目の交渉は、要求書の背景となっている労組員の労働実態、仕事に対して前向きに取り組んでいる状況、暮らし、思いなどを理事会につたえることを中心に、ランクによって一時金の支払い月数に格差を設けることはしないことを強く求めました。

労働組合は、この間の各事業所での共済目標の達成に対する頑張りの様子、台風の中でもアポ活動している様子も含めたアポ目標へのこだわり、本当に頑張って達成して「小躍りする」くらい成果をだしていることに対して自信を持っていることを理事会に伝えました。

それに対し理事会は、「現在の経営状況はかつてないほどの厳しさになっている。昨年からの経済状況の変化でこれまで以上に組合員のくらしも厳しくなっている。新しい発泡箱への切り替えや中温度帯商品の導入など商品管理力の飛躍的向上など未来に向けて着々と手は打っており、エフコープが現在より高い支持を得られる状況をつくれつつある。労組員の皆さんが元気に頑張れるメッセージを理事会として送ることが非常に重要だということも認識している。そのような中で、冬季賞与(一時金)の満足のいく回答をという気持ちも理解できる。上半期の結果と下半期の見込みを精査して回答したい。また、ランクの違いによる一時金の格差についても課題として認識している。不整合があればこれまでも前進させてきたし、その姿勢はこれからも変わらない。」との発言がありました。(エフコープ生協労組:スピーチバルーンより抜粋)

ララコープ労組

物流移転問題団交開催される!!

10月9日(金)午後2時より本部休憩室にて、労組執行部と物流部労組員と合わせて65名が参加し、理事会と第1回団交を行いました。今回は中島理事長も参加され、物流移転に関する理事会の見解があり、瀬川専務より労組要求に対する回答がありました。その後仁田脇パート部会会長の発言を皮切りに、物流部労組員の今まで働いてきた思いや物流移転に伴い職場がなくなる怒りを理事会にぶつけました。この回答については労組執行部と出席労組員の協議によりこの理事会回答は労組要求と大きく離れていますので再検討を求め、次回10月27日(火)の第2回団交にて再度協議することになりました。

(ララコープ労組:労組ニュースより抜粋)



お願い: 2009年秋闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX:092-947-9193